

N 全仁会 ニュース News

全仁会グループ
倉敷平成病院 広報誌

2026.2 冬号

No. 120



―特集― 医療を知る 病気を知る
地域の「かかりつけ窓口」として
「総合診療科」って
何を診てくれるの？

- 4 ピックアップ! …… SPLYZA Motion (スプライザモーション) 導入について
- 6 コーヒーブレイク Vol.28 …… 倉敷老健 施設長 渡辺明良
- 7 1日10分 健康体操 …… 誤嚥性肺炎予防に! ~自宅で簡単トレーニング~
- 8 季節のおたより …… 全仁会グループ 冬の行事
- 10 プロフェッショナル …… 薬剤師/倉敷平成病院 薬剤部 副主任 本田尚也
- 11 インフォメーション …… 医療費控除について
- ヘルシーレシピ …… 水菜ときんぴらゴボウのサラダ
- 12 地域とともに
全仁会トピックス



「どの科に行けばいい？」を解決する、
総合診療科の役割

体調が悪いとき、「頭が痛いから脳神経外科？」「熱が出たから内科？」と、何科を受診すべきか迷うことはありませんか？特に複数の症状が同時に起きている場合や、原因が特定できない「なんとなく不調」が続いている場合、どの専門科を受診したらいいのか判断に迷ってしまいがちです。総合診療科は、年齢や臓器の区別なく幅広い症状に対応する「地域の総合窓口」です。

発熱や腹痛、めまいといった急な不調から、原因がはっきりしない体調不良、複数疾患を抱える慢性期のご相談まで、多様な訴えに対して総合的な視点で診療を行います。高齢化が進む現代では、高血圧や糖尿病、骨粗鬆症など複数の慢性疾患を抱えている患者さんが多くいらっしゃいます。また、病気だけでなく、ご家庭の状況、生活環境、介護や福祉サービス利用といった、生活背景も複雑に絡み合っています。

総合診療科では、これらの要因をすべて視野に入れ、臓器別の専門科では見逃されがちな側面も含めて、患者さん一人ひとりに最適な治療やケアを提案します。単に病気を治すだけでなく、「その人が、その人らしく生活できること」を大切にしたい全人的な医療を実践しています。

多職種と連携した包括的な医療

総合診療科の診療は、医師だけではなく、管理栄養士、ソーシャルワーカーといった多職種が患者さんの情報を共有し、最適な医療と生活支援を提供します。多職種で連携して診療にあたることで、患者さんとご家族が不安なく地域での暮らしを継続できるよう、切れ目のないサポートを心がけています。

地域の「かかりつけ窓口」として

「受診したいけれど、何科に行くべきか

特集

医療を知る、 病気を知る。

地域の「かかりつけ窓口」として 「総合診療科」って何を診てくれるの？

倉敷平成病院 総合診療科

濱井 健太

分からない」「複数の病院にかかっている内服薬が多く整理してほしい」「検査結果について相談したい」——そんな時こそ総合診療科を受診ください。

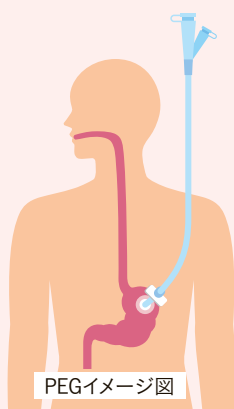
初期診断から必要な専門科への橋渡しまで、患者さんの状況に合わせて最短距離で最善の医療へつなげます。

胃瘻・PTEGによる栄養管理

総合診療科では、患者さんが住み慣れた地域で、安心して生活を続けていけるよう、栄養管理にも力を入れています。特に、嚥下（飲み込み）機能の低下などで口から十分な栄養が摂れなくなった方に対して、胃瘻造設術（PEG）やPTEG（経皮経食道胃管挿入術）を行っています。栄養管理は、在宅での療養生活を続ける上で非常に重要です。総合診療科は、この胃瘻・PTEGの造設から、その後の管理や交換まで、一貫してサポートしており、地域の皆様の質の高い療養生活に貢献してまいります。

胃瘻（PEG）とは？

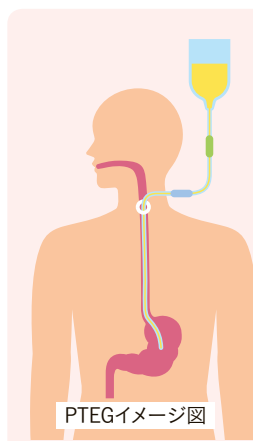
胃瘻（PEG）は、経皮内視鏡的胃瘻造設術（カテーテル）を通して、そこから直接、栄養剤や水分を注入できるようにする栄養投与ルートです。誤嚥性肺炎のリスクを減らし、体調を安定させながら、ご自宅や施設での生活を長く続けるために有効な方法の一つです。



PEGイメージ図

PTEGとは？

胃の形態や病状などの理由で胃瘻が難しい場合にはPTEGを選択します。PTEGは「経皮経食道胃管挿入術」といいます。内視鏡を使わず、喉（食道）からカテーテルを挿入し、胃まで誘導して栄養投与ルートを作る手法です。全身麻酔が不要で、局所麻酔のみで短時間で安全に行えるため、心臓や肺に持病があるなど、身体への負担を極力抑えたい患者さんに適しています。当院では適応を丁寧に評価しながら実施しています。



PTEGイメージ図

これからの総合診療科

超高齢社会を迎え、患者さんの抱える問題はより複雑になっています。病気を治す医療から、生活・介護・地域とのつながりまで含めて支える医療が必要とされるなか、総合診療科の役割は今後さらに重要になります。当科は今後も多職種連携を強化し、地域の皆さまが自分らしい生活を持続できるよう支援してまいります。

また、地域包括ケアシステムの中核として、在宅医療や介護事業所とも連携し、「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」という倉敷平成病院の理念の下、急性期から在宅復帰まで一貫した支援を提供できる体制づくりも進めています。健康についての不安や、生活の中でのちょっとした困りごとでも構いません。総合診療科は地域の皆さまにとって最も身近な医療のパートナーとして、これからも寄り添い続けます。



消化器科専門医と2名体制で胃瘻造設術を行う

総合診療科

総合診療科は、年齢や臓器にとらわれず、幅広い症状や健康問題を総合的に診る診療科です。
原因がはっきりしない不調や、複数の病気を抱える患者さんに対し、生活背景も踏まえて診断・治療を行います。
必要に応じて専門診療科と連携し、身近で頼れる「最初の窓口」として地域医療を支える役割を担っています。



総合診療科
濱井 健太
資格：日本外科学会専門医
日本麻酔科学会標榜医
(専門は消化器外科)

外来診療表

	月	火	水	木	金	土
午 前 8:30~12:00	—	—	濱井	—	○ 第1・4	—
午 後 13:30~17:00	—	—	高尾 聡	濱井	—	—

TEL 086-427-1140 [予約専用]

SPLYZA Motion (スプライザモーション)

導入について

—Aーが動きを読み取る！

最先端リハビリ解析システムー

Aーによる3D動作解析システムの導入

倉敷平成病院リハビリテーション部では、令和7年7月よりAーによる3D動作解析が可能な最新のモーションキャプチャ「SPLYZA Motion（スプライザモーション）」を導入しました。これは、専用マーカーを身体に貼り付けることなく、カメラ映像から身体の動きを自動で解析できるシステムです。

従来のモーションキャプチャでは、多くのマーカーを装着し、広い専用空間や特別な設備が必要でしたが、このシステムではタブレットやスマートフォンで簡単に撮影・解析が可能です。そのため、より気軽に動作を記録し、日常のリハビリ場面でも活用できるようになりました。

動きの「見える化」で視覚的に確認

SPLYZA Motionの特長は、動きを「見える化」できることです。

たとえば歩行や立ち上がりの様子を撮影すると、関節の角度や重心の動きなどがグラフや映像で表示されます。これにより、患者さん自身が「どのように動いているのか」「以前と比べてどう変わったのか」を視覚的に確認できるようになりました。

スタッフだけでなく、患者さんも一緒に変化を共有できる点が大きな魅力です。

一人ひとりに最適なアプローチ方法の検討

また、客観的なデータをもとに、治療前後の動きの違いを分析できるため、よりの確なりリハビリプランの立案にも役立ちます。

たとえば、「下肢装具を使ったときの歩行」と「使わないときの歩行」を比較したり、「筋力トレーニング後に動きがどのように改善したか」を確認することで、一人ひとりに最適なアプローチ方法を検討することが可能になりました。



解析結果を元にディスカッション



身体の動きを撮影（右）したものを解析し、データとして表示します（左）。

着替えや機器装着の手間が不要になり、患者さんへの負担がぐっと減りました。

また、ご自身では変化を実感しにくい患者さんにも、動画とデータでの比較や、グラフや数値として可視化したものを客観的に示すことで違いが明確になり、「治療をやって良かった」と効果を実感していただく手助けになっています。



SPLYZA Motion
WEBサイト



山崎理学療法士
インタビュー

SPLYZA MotionのWEBサイトに、
山崎理学療法士のインタビューが掲載されました。

担当診療科

リハビリテーション部
動作解析チーム

P.T科副主任 理学療法士 山崎 諒
(写真左)

今後も当院では、最新技術を活用しながら、患者さん自身が変化を実感しながら取り組めるリハビリの実現に努めてまいります。



倉敷平成病院に勤務する医師の
オススメの食べものや曲などの紹介、
趣味の話や旅行記など…
どんなお話が聞けるかな？



仲良く散歩中 (F3号)



我が家に来たての
アンジュ 3ヶ月 (F0号)

70の手習い、水彩画

20年前のこと学会会場で講演を聴いていた時、突然携帯電話の振動が胸に伝わってきた。病院からの緊急連絡かと思いながら会場の外で電話に出ると「お父さん、黒のトイプードルを飼ってもいい？ 賢そうな男の子」と長女からの声でした。「ムック（その時飼っていた雑種）がいるじゃないか。よく考えなさい」と返事をして電話を切った。ところが学会出張から帰宅してみると、真っ黒でどちらが頭かお尻かも分からない子犬がケージの中で眠っていた。名前はココである。

13年前のこと、今度は妻から「レツドの可愛い女の子がいるの、見に来てくれる？」との電話があり、仕事帰りにお店に寄ってみた。生後2ヶ月で片手に乗るほどのトイプードルだ。そして、その日からアンジュ（その子の名前）は、ココとの楽しい生活が始まった。

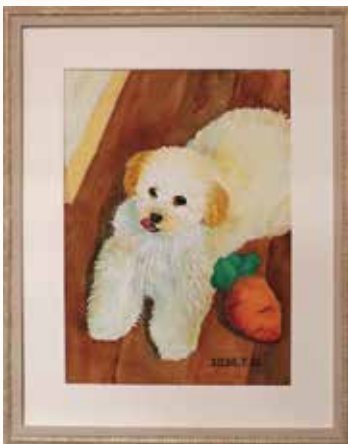
ところが2年前の4月アンジュを全身痙攣が襲った。薬を飲み始めたが昨年の3月に痙攣重積で亡くなった。おそらく脳腫瘍ができていたのだろう。そして、遊び相手がいないようになったためココも力が弱ってゆき今年の3月、19歳6ヶ月で亡くなってしまった。

アンジュが亡くなってからというもの、元気な頃の写真を見ては悲しい思いに沈んでいたが、その気持ちを絵に描くことで紛らわそうと心に決めた。始めはF0号の小さなスケッチブックに描き始め、並行してYouTubeで透明水彩の描き方を学んでいた。そこで初めて透明

水彩で白を表現するときは「紙の白」を使う（残す）ことを知った。高校時代の美術の時間では、油絵の具の「白」を多く使っていたので驚きであった。そしてF3号、F4号と徐々に大きな水彩紙に描くようになった。主に土日の夕方の時間を使って、これまで40枚近く描いたと思う。

黒い毛並みのココも描いてくれたという娘たちからの注文もあり、挑戦してみたが、絵の具の「黒」をほとんど使わずに、色の3原色（赤、黄、青）を用いて描くとなんとなく立体的に見えてくるものである。どの絵でも私は最後に目を描くようにしている。すると、それまでただ色のついた形に過ぎなかった絵が急に生きたアンジュやココになるのである。絵を描いて初めて体験する不思議な感覚である。

今は、クリーム色（ほとんど白）の生後4ヶ月の女の子のトイプードル（名前はNORA…野良犬ではない）が家族の一員となっている。そして、ほとんど「紙の白」になってしまっているのではないかと不安を抱きながら描き始めたが、青や緑を使うことで白を強調しつつ、何とか舌をペロリと出した瞬間を描くことができた。



NORA 4ヶ月 (F4号)

右/アンジュ (F4号)
左/ココ (F4号)



倉敷老健 施設長 渡辺 明良

岡山県総社市出身。東京都立小石川高等学校、新潟大学医学部卒業。新潟大学脳研究所、長野赤十字病院、諏訪湖畔病院、川崎医科大学講師を経て笠岡第一病院総合診療部長。2022年4月に倉敷老健に入職、2025年1月に施設長に就任。
医学博士、脳神経外科専門医、脳卒中専門医、頭痛専門医・指導医、老人保健施設管理認定医。



1日10分健康体操

“誤嚥性肺炎予防に！ ～自宅で簡単トレーニング～”

倉敷平成病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 藤川 奈央

現在、死因の第5位が肺炎であることをご存じでしょうか。肺炎患者のうち、80代では約8割、90歳以上では約9.5割以上が誤嚥性肺炎であったと報告されており、肺炎の中でも特に誤嚥性肺炎の占める割合が高いことがわかっています。

誤嚥性肺炎の予防においては、呼吸機能や舌の機能がとても重要です。今回は、唾液や水でむせた際に必要となる、痰をしっかりと咯出するための「呼吸筋トレーニング」をご紹介します。

セルフチェック

大きく息を吸って、できるだけ長く「アー」と声を出し続けます。

10秒未満の場合 ⇒ 呼吸機能が低下しているといわれています。

呼吸筋のトレーニング

今すぐできるトレーニング！ **目安** 5秒×5回＝1セット



5秒、強く！

唇をすぼめて鼻から大きく息を吸って、約5秒間、できるだけ強くティッシュペーパーを吹き続けます。



5秒、強く！

大きく息を吸ってから、ガーゼやハンカチをしっかりと口に押し当て、約5秒間、できるだけ強く口から息を吹き続けます。

ペットボトルを使ったトレーニング！ **目安** 5秒×5回＝1セット

● 500mlの空の軟らかいペットボトルを用意します。



1、2…5

大きく息を吐いてから、ペットボトルをしっかりと口にくわえます。約5秒間、できるだけ強く息を吸い続けます。



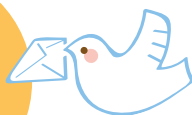
オー…

ウー…

ペットボトルに水を入れ、差し込んだストローをくわえます。約5秒間、「ウー」または「オー」と声を出し続け、水を泡立たせます。

動画で紹介しています！ ➡





町のお節介屋さん

倉敷市老松・中洲高齢者支援センター
社会福祉士 課長 福田 忍

老松・中洲高齢者支援センターは、老松・中洲小学校区の65歳以上の方が、住み慣れた地域で安心・元気に暮らせるよう、サポートしています。医療や介護、保健、福祉に関する相談に対応できるよう、看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士、介護支援専門員の11名で支援しています。私たちの業務内容は多岐に渡ります。ある日の支援センターの一日をご紹介します。支援センターでは、毎年1〜2回支援センター通信を発行しています。この日は次回の発行に向けて打ち合わせをしました。



その後、地域の高齢者のお宅を訪問し、お困り事が無いかな等の聞き取りや地域のニーズを把握します。それが済むと、市役所へ介護保険の申請代行に出かけました。
午後からは介護予防教室（元気教室）を開催し、ご参加の方と一緒に

学びや運動をしました。その後、介護サービスを利用している担当者のお宅を訪問し、お変わりないか確認します。



介護予防教室（元気教室）の様子

事務所に帰ってきてからは、高齢者の虐待の相談にも対応しました。夏はエアコンを使用されないご高齢のお宅を訪問し、安否確認をすることもあります。実態把握調査では、訪問調査を拒否されることもあります。訪問調査が元気で暮らすためのお節介屋さんでありたいと思っています。

「これって、どこへ相談したらいいのかな？」と思ったら、まずは高齢者支援センターへご連絡ください。

隣のおばあちゃん最近元気ないみたい...心配だなぁ

介護サービスを利用するにはどうしたらいいの？

身体を動かしたり友だちとおしゃべりできる場所はないかな？

玄関に手すりを付けたいなぁ

倉敷市老松・中洲高齢者支援センター

(倉敷市委託事業)

老松・中洲高齢者支援センターの1日

- 8:30 朝礼 今日の予定を確認します
- 8:45 打ち合わせ 年2回の新聞発行のため、関係部署と相談
- 9:30 実態把握調査 65歳以上の方のお宅を訪問します
- 11:00 市役所へ 介護保険の申請を代行します
- 12:00 昼休憩
- 13:30 介護予防教室（元気教室）開催
倉敷西公民館と労働会館で定期的に教室を開催しています
- 15:30 モニタリング
介護サービスを利用している方のお宅へ様子確認のため訪問します
- 16:30 電話相談 来所や訪問でも相談を受け付けています
- 17:00 終礼 申し送り事項等を共有します
- 17:15 退社

所在地 倉敷市老松町4-3-38
(倉敷在宅総合ケアセンター 1階)

T E L 086-427-1191

窓口対応時間 8:30~17:15

休業日 日・祝祭日・年末年始（12/30~1/3）



全仁会グループ

季節のおたより

倉敷老健 ● 倉敷在宅総合ケアセンター ● ピースガーデン倉敷
ローズガーデン倉敷 ● グランドガーデン南町 ● ドリームガーデン倉敷

※感染対策を行い行事・活動を行っています。写真掲載の許可をいただいています。

グランドガーデン南町

芸術の秋

グランドガーデンでは「芸術の秋」にちなみ、

11月26日(水)に音楽ボランティア「ア・ミントリフ」をお招きし、エレクトーンの演奏や世界の歌、日本の歌を楽しみました。

ご入居の皆さんも参加し、演奏に合わせて歌ったり踊ったりと、笑顔あふれる楽しいひとときを過ごされました。音楽からたくさんの元気をいただき、これからも健康な毎日が送れそうです。(森)



ケアハウスドリームガーデン倉敷

八軒屋子供会との交流会

地域交流の一環として、12月7日(日)に八軒屋子供会の皆さんをお迎えし、交流会(クリスマス会)を開催しました。

子どもたちとご入居の方がペアになり、ゲームやクイズ、プレゼント交換を楽しんだ後、皆でクリスマスソングを合唱しました。はじめは少し照れた様子だった皆さんも、孫やひ孫のような子どもたちと触れ合ううちに自然と笑顔があふれ、温かな雰囲気になりました。(吉岡)



倉敷老健

手作りクリスマス会

12月20日(土)、クリスマス会を開催しました。

ご入所の皆さんと一緒に、紙コップを使って手を伸ばせるところまで高く一つひとつ積み重ね、手作りのクリスマスツリーを完成させました。また、音楽に合わせてプレゼント袋にお手玉を投げ入れるレクリエーションをし、大きなクリスマスプレゼントが完成しました。最後には、お一人ずつ記念撮影を行い思い出に残るひとときとなりました。(片山)



ピースガーデン倉敷グループホーム

皆で大掃除

12月中旬、ご利用の皆さんと一緒に大掃除を行いました。

窓拭きやカーテン、換気扇、居室の棚など、1年分の汚れを丁寧に落としました。「きれいになると気持ちいいな」といった声も聞かれ、終始和やかな雰囲気の中で楽しく取り組むことができました。令和8年も「笑うのぞみに福来たる」を合言葉に、笑顔あふれる毎日を大切にしていきたいと思います。(江國)

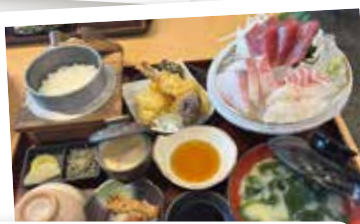


きれいになって気持ちいいわ

持ってるから安心してね

結構力があるなあ

ピカピカにするよ



ローズガーデン倉敷

お食事ツアー

ローズガーデン

倉敷では、毎月恒例のお食事ツアーとして、倉敷市近辺のお店を予約し、ドライブを楽しみながらランチに出かけます。

11月21日(金)、今回は少し足を延ばし、坂出方面まで行ってきました。「県立東山魁夷せとうち美術館」では「芸術の秋」を感じ、「海鮮ほんまる」では「食欲の秋」を満喫。

穏やかな天候にも恵まれ、皆さんにとって思い出に残る、ちょっとした小旅行となりました。(猪原)

(猪原)

“切れ目のない医療を提供する”

チーム医療の一員であり、薬の専門家として患者さんに寄り添う、病院薬剤師をご紹介します。

Q. 薬剤師を目指したきっかけは？

小さい頃からテレビを見るのが好きで、医療系のドラマもよく見ていたため、漠然と将来は医療系の仕事に就きたいと考えていました。様々な職種がある中で薬剤師を目指した理由はいくつかありますが、純粋に「なぜ薬は効くのか」という疑問を解決したかったのが大きな理由です。調剤薬局、製薬企業などいくつかの就職先がある中で、病院勤務を選択したのは、実務実習の際に多職種連携に大きな魅力を感じたからです。それぞれの職種がそれぞれの見地から意見を述べ、時には良い意味で衝突しながら、患者さんにとって最適な医療を提供するために尽力する姿はとても魅力的であり、私もチーム医療の一翼を担う存在になりたいと思います、病院勤務を選択しました。

Q. 病院勤務の薬剤師の役割とは？

入院は、誰にとっても好ましくない出来事である一方で、入院をきっかけとして、既往歴、生活環境、処方歴など様々な情報が集約される機会でもあります。その中で、病院薬剤師としては、『服薬アドヒアランス不良※1』や『ポリファーマシー※2』などの薬学的な問題を抽出し、解決に向けて取り組むと同時に、かかりつけ薬局と連携（薬薬連携）し、

切れ目のない医療を提供していくことが重要な役割だと考えています。

Q. 患者さんとのコミュニケーションで意識していること

患者さんとの面談の際、必ず「何かお困りのことはないですか」「また来ますね」と言うようにしています。病気への不安、入院に対する不安、退院後の生活に対する不安、患者さんは入院に伴いたくさんの不安を抱えることとなりますが、そのような状況で、気にかけてくれる人、また来てくれる人がいるというだけで、大きな安心感が生まれるのではないのでしょうか。月並みな表現ですが「患者さんに寄り添う」ということを一番意識しています。

Q. 働き始めて取得した資格にはどのようなものがありますか？

薬剤部では、入職して4年目に日本糖尿病療養指導士（CDEJ）の資格を取得します。CDEJとは、糖尿病治療においてもとても大切な自己管理を患者さんに指導する医療スタッフです。その他には、自身が興味のある分野にまつわる資格を取得しているスタッフが多く、私の場合、栄養療法やスポーツに興味があったため、NST専門療法士や公認スポーツファーマシストといった資格を取得しています。

医療は日々進歩するため、資格取得後も、研鑽を重ねる必要がありますが、資格を取得することで自信を

Q. 休日の過ごし方は？

休日はもっぱらバスケットボールの試合観戦に行き、推し選手の写真撮影をしています。数年前まで、まさか自分が、いわゆる「推し活」をするなんて思ってもみませんでした。推し活をきっかけに新たな出会いにも恵まれ、推しの活躍が仕事を頑張るための原動力にもなっています。

Q. 薬剤師を目指している方に送りたいメッセージ

以前は「薬と向き合う対物業務」が中心でしたが、現在は「患者さんや他の医療職種と向き合う対人業務」にシフトしており、薬学的な知識に加え、コミュニケーションスキルも必要とされています。しかし、実際に患者さんや他職種とどのようにコミュニケーションをとっているかは、現場でしかわかり得ないと思います。ぜひ、積極的に病院見学に参加し、現場を見てもらいたいです。いつでもお待ちしております。

※1 服薬アドヒアランス不良：患者が処方通りに薬を服用しないことで、医療費の増加などの問題がおこること
※2 ポリファーマシー：多くの薬を服用しているために、副作用がおきたり、正しく服用できなくなったりしている状態



聞き手
倉敷老健
高垣 亮

医療費控除について

医事課 妹尾 愛梨

医療費控除とは

その年の1月1日～12月31日までの1年間で支払った医療費が10万円(総所得金額が200万円未満の人は総所得金額×5%)以上だった場合に受けることできる所得控除の1つです。

対象者

納税者本人だけでなく、生計を一にするご家族の医療費も含まれます。

医療費控除の対象となる費用

- 病院や診療所等に支払った治療費・入院費
- 病気やけがの治療・療養のために購入した医薬品の代金
- 歯科治療(歯列矯正費用等も対象) 等

医療費控除の対象外となる費用

- 美容外科での自費診療
- 人間ドックや健康診断の費用
- インフルエンザ等の予防接種 等

控除額の計算方法

医療費控除の控除額は

「支払った医療費－保険金等で補填された金額－10万円(または所得の5%)」(最高200万円)で計算されます。

申請方法

- 確定申告
(対象となる年の翌年2月16日～3月15日)
- スマートフォンやパソコンからの電子申請も可能

近年は税務署に行かなくてもスマートフォンで簡単に申請できるようになりました。

マイナンバーと連携することで、確定申告書の該当項目へ医療費情報を自動入力する機能もあります。対象になる方はぜひ活用してみてください。

Healthy Recipe ヘルシーレシピ

倉敷平成病院 管理栄養士 守屋 友香



寒い時期に温かいサラダはどうでしょうか。いつものきんぴら

ゴボウに水菜を加えるだけでボリュームのある1品に。

サラダには定番のドレッシングを使用しないので減塩にもなります。レンコンチップスを添えてアクセントにしました。



水菜ときんぴらゴボウのサラダ

栄養成分1人分 エネルギー：40kcal 塩分：0.2g

材料【4人分】

水菜……………	50g	A {	濃口しょうゆ……………	小さじ1
ゴボウ……………	60g		酒……………	大さじ1/2
ニンジン……………	30g		砂糖……………	小さじ1
ごま油……………	小さじ1		みりん……………	小さじ1/2
レンコン……………	20g		酢……………	小さじ1/2
サラダ油……………	適量			

作り方

- 1 水菜は4cmの長さ、ニンジン、ゴボウは4cmの細切りにする。ゴボウは5分間水にさらしてざるに上げる。
- 2 レンコンは薄切りにしたものを油で揚げ、レンコンチップスを作っておく。
- 3 フライパンにごま油をひき、ニンジン、ゴボウをしんなりするまで炒める。
- 4 3にAを加え、汁気がほとんどなくなるくらいまで炒める。
- 5 4をボウルに入れ、熱いうちに水菜と和える。
2を飾って完成。

第2回 DBS患者・家族会を開催しました

いつも当院の地域連携業務にご協力いただきありがとうございます。

倉敷ニューロモデュレーションセンターでは、2024年から年に1回開催しているDBS（脳深部刺激療法）患者・家族会を、2025年11月8日（土）に開催しました。当日は県内だけではなく中四国地方からも多くの方が来院、38名の方が参加してくださいました。

会では日頃の不安やDBSへの疑問など活発に意見交換を行い、難病患者自身がご自分の最期をどうしていきたいか、ACP※を考える機会となりました。

会の最後は患者さん同士で連絡先を交換するなどの場面もみられ、終始笑顔が絶えない会となりました。今後もこのような患者・家族会を開催していきたいと考えております。

地域医療連携センター 課長 山川 恭子



※ACP：人生会議

もしものときのために、将来希望する医療やケアについて本人・家族・医療ケアチームが前もって繰り返し、話し合い共有する取り組み。

地域とともに

ご不明な点がございましたら、
お気軽に下記までお問い合わせください。

倉敷平成病院 地域医療連携センター

TEL 086-427-6550 (直通) FAX 086-427-1197 (直通)

窓口対応時間

月曜日～金曜日 8:30～17:00
土曜日 8:30～12:00

11/22

第38回 神経セミナー「脳卒中のチーム医療」開催

11月22日（土）、当院救急棟4階にて第38回神経セミナー「脳卒中のチーム医療」を開催し、154名の方に参加いただきました。

話題提供では、当院リハビリテーション部 隠明寺修介PT科長が「回復期リハビリテーション病棟における脳卒中リハビリの最近の取り組み」と題して発表しました。回復期病棟の役割、脳卒中後のリハビリ、脳の可塑性、生活期とのシームレスな連携という4つの視点から、Aを活用した多職種協働の重要性が示されました。

特別講演では、川崎医科大学脳神経外科教授 菱川朋人先生をお迎えし、「脳卒中の外科治療アップデート」と題してご講演いただきました。脳血管内治療における最新の血栓回収療法やステント留置術などについて、動画を交えて分かりやすく解説されました。



隠明寺PT科長

菱川教授



さらに「もやもや病」について、発症年齢や病態、年間200名以上を診療する豊富な経験に基づき、高次脳機能障害や学習障害へのリハビリ連携、学校・家庭・医療の三位一体による支援体制の重要性が紹介されました。「もやもや病」がサポーターおかやま」など、医療を超えた社会的取り組みも印象的でした。

本セミナーを通じ、最新治療とリハビリ、多職種連携の意義について理解を深める貴重な機会となりました。

広報課

Topics
全仁会

10/28

母校のパンフレット 制作に協力しました

このたび、令和8年度朝日医療高等学校のパンフレットに、倉敷平成病院のリハビリスタッフ（理学療法士・言語聴覚士）が卒業生として紹介されることになりました。

10月28日（火）には、大学入試広報部の方がカメラマンとともに来院され、院内での写真撮影が行われました。撮影とあわせて、なぜこの職業を選んだのか、入職1年目に感じた難しさや成長、今感じているやりがいなどについてもアンケート取材されました。

これから医療の道を目指す学生さんたちに、少しでも参考になれば嬉しく思います。

広報課



10/30

岡山操山中学校1年生 の校外学習に取材協力

10月30日（木）、岡山操山中学校1年生4名が校外学習の研究取材に来院され、当院整形外科部長・スポーツリハビリテーションセンター長 平川宏之医師と小亀淑子理学療法士が協力しました。

それぞれの研究に関する質問を積極的に行い、真剣な様子でアドバイスを聞いていました。勉強中にできる筋トレや、ダイエットする女性への健康を意識したすぐろく作りなど、中学生らしい視点の研究に取材協力した2名も終始笑顔で応えていました。

皆さんの研究が実を結ぶよう応援しております。

広報課



11/7

献血へのご協力 ありがとうございました

11月7日（金）、当院に献血バスがやってきました。当日は14名の方が受付され、実際に献血された方は11名でした。

献血は、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの命を救うため、健康な人が無償で自分の血液を提供するボランティアです。

献血予約や問診ができる、献血Web会員サービスアプリ「ラブラッド」も上手く活用し、ぜひ献血にご協力ください。今回、献血にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございます。次回も積極的なご協力をよろしくお願いいたします。

広報課



11/9

おかやまマラソン 2025 医療スタッフ参加

11月9日（日）、おかやまマラソン2025が開催され、当院からAED班として医師・臨床工学技士各1名、救助スタッフとして看護師2名が参加しました。

当日は時折激しい雨が降る厳しいコンディションの中、それぞれの担当に分かれ、任務を遂行しました。

当院は「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」という理念のもと、地域に根差した医療を提供しています。

今後も、おかやまマラソンをはじめとする岡山県内のイベントに対し、医療という形で貢献できるよう、活動を継続してまいります。

臨床工学技士 主任 高須賀 功喜



11/8

令和7年度岡山県看護学会 倉敷平成病院看護部発表

11月8日(土)、岡山県看護会館で開催された「令和7年度岡山県看護学会」に、倉敷平成病院看護部が参加しました。今年度のテーマは「人生100年をいきいきと暮らす看護のありかたを考える」。少子高齢化や医療の高度化が進む中で、地域で支える看護の役割を改めて見つめ直す内容でした。

当院からは、「褥瘡の予防・治療における褥瘡専門看護師の役割の明確化」について発表を行いました。専門看護師への意識調査をもとに、役割の明文化や教育体制の整備、専任医師との連携強化を進めた取り組みを紹介し、チーム医療による褥瘡対策の質向上をめざした取り組みを報告しました。

会場では多職種連携や教育支援に関する活発な意見交換が行われ、看護の専門性をさらに深める貴重な機会となりました。今後も学びを現場に活かし、より良いケアの提供に努めてまいります。

3 西病棟 師長 細田 尚美



11/29

「ヨガで楽しく認知症予防・介護予防」開催

11月29日(土)、国民宿舎サンロード吉備路にて岡山県備中県民局主催の「ヨガで楽しく認知症予防・介護予防」が開催され、当院から脳神経内科部長 菱川望医師と三宅理学療法士が講師として、認知症予防の講義およびヨガの実技指導を行いました。

当日は約40名の方にご参加いただき、菱川医師の落ち着いたリードのもと、参加者の皆さんは呼吸と動きの調和を感じながら、ゆったりと体を動かしておられました。



ました。

終了後には、「体がぼかばかと温まった」「ぜひ継続して取り組みたい」といった感想が多く寄せられました。

今回2回目となるこの講座ですが、今後も地域の皆さんの健康増進と認知症予防に向けた取り組みに協力できればと考えております。

広報課

12/6

第13回 わくわくカフェ開催

12月6日(土)に認知症疾患医療センターで、第13回「わくわくカフェ」を開催し、19家族・計37名の皆さんにご参加いただきました。

講演では、通常のもの忘れと認知症によるもの忘れの違いや認知症予防に効果的な脳を守る3大要素(栄養・運動・交流)に関するお話があり、メモを取りながら受講する方々もいらっしゃいました。グループごとの自己紹介で緊張をほぐし、体操やクリスマスソングのハンドベルをデコレーションする創作、完成したベルを使って「ジングルベル」の歌に合わせて演奏を行いました。最後に歌唱した「上を向いて歩こう」では、スタンプによるピアノとギターの生演奏に加え、患者さんのハーモニカも加わり会場全体が素敵な音楽に包まれました。

参加されたご家族の方からは、「両親が他のご家族と楽しそうに話す姿を見てもっと交流させてあげたいと感じた」「家族同士の悩みを話し合い、気分がすっきりした」などの声をいただきました。わくわくカフェが患者さんご家族を明るく笑顔にする交流の場となるよう、これからも精進してまいります。

認知症疾患医療センター
公認心理師 安信 陽菜



12/11 スクールトレーナー事業 部活動指導実施

12月11日(木)、スクールトレーナー(SCT)事業の一環として倉敷市立西中学校の部活動指導を当院スポーツリハビリテーションセンターの濱田(P.T、SCT)と県内スクールトレーナー5名で行いました。当センター長平川宏之医師の監修のもと、「ケガを予防するためのストレッチングと体の使い方」というテーマで講義と実技指導を行いました。県内SCTの協力もあり、競技に応じた内容で指導を行うことができ、生徒たちも真剣に取り組んでくれました。学校の先生方からも喜びの声をいただくことができ、今後も少しずつ活動の幅を広げていけたらと思います。子どもたちの身体の一極化(運動不足と運動過多)が問題視される中、スクールトレーナー制度は2024年度から全国で開始され、岡山県内でも少しずつ活動の場を広げています。現在、県内では6名がスクールトレーナーの認定を受けて活動しています。



今後子どもたちの運動器の健康を守るため、行政や医師、教育機関と連携をとりながら活動を進めてまいります。

スポーツリハビリ
テーションセンター

P.T副主任 濱田 智

12/26 回復期リハビリテーション病棟 にてクリスマス会2025開催

12月26日(金)、当院回復期リハビリテーション病棟にて、クリスマス会を開催しました。

会場では、赤いサンタ帽やトナカイのキャラクターを身につけた患者さんの姿があちこちに見られ、いつもとは少し違う、わくわくした雰囲気が広がっていました。

音楽療法の一環として、職員によるフルートとピアノの演奏が始まると、やさしい音色のクリスマスメドレーが病棟に響き渡り、自然と口ずさむ声が聞こえてきました。患者さんは手作りの楽器を手に、それぞれのペースで音楽を楽しまれました。

また、今回は院内保育の子どもたち5名も参加してくれました。患者さんから子どもたちへ、心を込めて用意したプレゼントを手渡す場面があり、会場は自然と笑顔とあたたかな拍手に包まれました。患者さん子どもたちも穏やかな表情を見せ、楽しそうな様子がとても印象的でした。短い時間ではありましたが、音楽を通して同じ時間を共有し、世代を超えたふれあいを感じられる、心温まるクリスマスのひとときとなりました。



4階西病棟 介護副主任 大岡 信太郎

1/10 全仁会グループ新年会

1月10日(土)、倉敷アイビースクエアエメラルドホールにて「令和8年 全仁会グループ新年祝賀会」が開催され、岡山大学医学部教授石浦浩之先生をはじめとした多くのご来賓の方を含む約270名の方がご参加くださいました。

高尾理事長よりスローガン「さあ、行こう!」心をひとつに未来の全仁会へ」が提示され、多くのご来賓の方からご祝辞を賜りました。

また、永年勤続職員への表彰や、『第32回 全仁会研究発表大会』の結果発表と理事長賞を受賞した部署への表彰、演芸ではウクレレ部による生演奏や、野球部による一発芸、レクリエーション委員会による福引が開催され、大いに盛り上がりしました。全仁会は多くの方に支えられ、創立38周年を迎えました。これからも患者本位の医療・介護サービスの提供に努めてまいります。

広報課



※記事の内容は執筆当時のものです。

行事予定表

3月

14 土 第39回
瀬戸内倉敷ツーデーマーチ
(ぜっとくん14日参加)



第38回の様子

25 水 入職前研修

4月

1 水 辞令交付式

わが街健康プロジェクト。
～心かよう地域医療～
love our community

初参加も大歓迎! 2026年3月17日(四)

2026年春講演会

会場 倉敷市民会館2階 大会議室

受付開始 13:30 講演会 14:00~15:15

講演1 「訪問診療と救急について」
つばさクリニック 荊房 宏成 先生

講演2 「救急行政の現状と課題について」
倉敷消防署 救急主任 塚元 規史 先生

参加費 無料 定員 150名

申込締切 2026年2月24日(火)
お申し込みは先着順です。

申込方法 参加申込フォームより▶
お一人につき1回ずつ入力が必要です。

主催 わが街健康プロジェクト。事務局

自分らしく、もっと前向きに

春は、「今の自分を少し整えたい」と感じる方が増える季節です。
倉敷平成病院美容センターでは、年齢や性別を問わず、お一人おひとりのお悩みに寄り添った美容医療をご提供しています。

昨年2月から一部施術の価格を見直しています。

こんなお悩みはありませんか？

- しみ・しわ・ほくろが気になる
- ニキビ、毛穴を改善したい
- 医療ダイエットがしたい
- 医療脱毛がしたい

ご予約・ご相談は受付またはお電話にて承っております。

0120-1616-09

受付時間：9:00～17:00
休診日：水曜・土曜午後・日曜・夜日

総合美容センター

第61回 **のぞみの会** 令和8年10月25日(日) 倉敷平成病院 リハビリセンター
倉敷市老松町4-3-38 TEL. 086-427-1111

編集後記

昨年の元旦に家族で初のスノーボードに行きました。子どもたちは初めての雪山、初めてのスノーボード。こけて痛い思いもしながら、それも楽しくて大はしゃぎ! それからあっという間に1年が経ち、今年も家族揃って行ってきました。2026年も色々な初体験ができるといいなと思います。(O)



全仁会グループ 社会医療法人 全仁会／社会福祉法人 全仁会／有限会社 医療福祉研究所ヘイセイ



倉敷平成病院

倉敷市老松町4-3-38
TEL.086-427-1111
FAX.086-427-8001

救急指定

倉敷平成病院
●内科 ●脳神経内科 ●脳神経外科 ●脳卒中内科 ●整形外科 ●消化器科 ●循環器科
●呼吸器科 ●耳鼻咽喉科 ●形成外科 ●皮膚科 ●泌尿器科 ●眼科 ●総合診療科
●リハビリテーション科 ●放射線科 ●麻酔科 ●救急科 ●和漢診療科 ●歯科

倉敷ニューロモデュレーションセンター
●脳神経外科

倉敷生活習慣病センター
●糖尿病 ●代謝内科

総合美容センター
●美容外科 ●形成外科 ●婦人科 ●乳腺甲状腺科

認知症疾患医療センター
スポーツリハビリテーションセンター
神経放射線センター
平成脳ドックセンター



倉敷老健
倉敷市老松町4-3-38
TEL.086-427-1111



倉敷在宅総合ケアセンター
倉敷市老松町4-4-7
TEL.086-427-0110
●訪問看護ステーション
●ホームヘルプステーション
●ショートステイ
●通所リハセンター
●予防リハセンター
●ケアプラン室
●高齢者支援センター
●ヘイセイ鍼灸治療院



複合型介護施設
ピースガーデン倉敷
倉敷市白楽町40
TEL.086-423-2000
●地域密着型特別養護老人ホーム
●ショートステイ
●グループホーム
●デイサービス



住宅型有料老人ホーム
ローズガーデン倉敷
倉敷市南町4-38
TEL.086-435-2111
平成南町クリニック



サービス付き高齢者向け住宅
グランドガーデン南町
倉敷市南町1-12
TEL.086-435-2234
●特定施設入居者生活介護
●ヘルプステーション南町
●南町ケアプラン室



ケアハウス
ドリームガーデン倉敷
倉敷市八軒屋275
TEL.086-430-1111
●ヘルプステーション